

一年学年だより

No. 6

9月号

令和2年9月1日発行

104HR

「普通」は変わる

最近、外出するときは、マスクを持ってという人がほとんどではないでしょうか。新しい生活様式が社会に浸透し始めてきている今日、普通が普通でなくなっているような気がします。そもそも「普通」とは何でしょうか。辞書で調べてみると、名詞・形容動詞として、①いつでもどこにでもあって、めずらしくないこと。②ほかとくらべて特に変わらないこと。③特別ではなく、一般的であること。副詞として、①その事柄が多くの事例にあてはまるさま。②いつもではないが、ほとんどそうであるさま。以上のような意味が確認できます。

思い起こせば約20年前、私が高校生だったとき、はじめて携帯電話というものを持たせてもらいました。当時はカラー液晶の携帯電話が普及し始めた頃で、友人はちょうど半分くらいが携帯電話を持っていたと思います。当時はそれが普通でした。しかし今、高校生はそのほとんどが携帯電話でなくスマートフォンを持っています。1年生はタブレット端末も持っていますね。「普通」はここまで変化しました。

5年前、高校生が自転車通学時にヘルメットをかぶるようになりました。当時は少し違和感があった人もいたかも知れません。私は前任校で「いずれヘルメットをかぶることが普通と思える日が来る」というような話を当時の生徒にしたのを覚えています。そして実際、今では当たり前の光景となりました。

最近では、各地で40度を超える最高気温の記録更新が相次いでいます。35度以上は猛暑だの大変だのといっていた日常はどこかにいって、今日の最高気温31度か、まあ普段よりは涼しいかなと思っている自分がいるような気がします。

このように「普通」は変わります。今回は新型コロナウイルスにより多くの「普通」が普通でなくなり、新しい「普通」が普通となりつつあります。今まではこうだったからこうしないといけないという考え方にとらわれず、新しいことを受け入れ、それに対応していくのが大事なことだと思います。松山中央高校の「普通」科としての頑張りを期待しています。

(104HR担任)

「基礎を固める」

高校に入ったら、友達もたくさん作りたいし、部活も頑張って、学校行事にも楽しく参加したい…と思って入学してきた人は多いはずですが、また、勉強と部活の両立、勉強を欠かさない習慣、苦手科目と向き合うことなどそれぞれに勉強への思いがあるでしょう。

大学受験を目指している高校1年生が行うべきことは、何でしょうか。

皆に共通して言えることは、「基礎を固める」ことでしょう。基礎とは、建物に例えると、しっかりとした幅と高さを持った土台をつくることです。この土台が軟弱でスカスカであれば、その上に建物を建てても不具合が起こったり倒壊したり、初めから完成しないかもしれません。

勉強で言うと、基本的な知識を獲得することです。数学の例題や練習問題、漢字、英単語や古文単語、文法などの知識を100%に近づけるというようなイメージでしょうか。それは、時間のかかる地道な学習ですが、続けていけば、2年生からの骨組みや壁を造る作業に活かされて、3年生で受験体制に入った時にはものすごい力を発揮します。どうか、今すべきことを大切にしてください。

(104HR副担任)